

<p>生薬名 インチンコウ 茵陳蒿</p> <p>別名</p>	<p>茵陈 Yinchen</p> <p>慣用名 绵茵陈, 花茵陈</p>														
<p>英語名 Artemisia Capillaris Flower</p>															
<p>ラテン名 Artemisiae Capillaris Flos</p> <p>学名 カワラヨモギ <i>Artemisia capillaris</i> Thunberg</p>	<p>Artemisiae Scopariae Herba</p> <p>滨蒿 <i>Artemisia scoparia</i> Waldst. et Kit., 茵陈蒿 <i>Artemisia capillaris</i> Thunb.</p>														
<p>植物科名 Compositae / キク科</p> <p>部位 頭花</p>	<p>菊科</p> <p>干燥地上部分</p>														
<p>定量</p>	<p>绵茵陈: 本品按干燥品计算, 含绿原酸 [Chlorogenic acid] (C₁₆H₁₈O₉) 不得少于0.50%。花茵陈: 本品按干燥品计算, 含滨蒿内酯 [Scoparone] (C₁₁H₁₀O₄) 不得少于0.20%。</p>														
<p>乾燥減量 12.0%以下(6時間).</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">性味与归经</td> </tr> <tr> <td colspan="2">苦、辛，微寒。归脾、胃、肝、胆经。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">功能与主治</td> </tr> <tr> <td colspan="2">清利湿热，利胆退黄。用于黄疸尿少，湿温暑湿，湿疮痒疹。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">用法与用量</td> </tr> <tr> <td colspan="2">6~15g。外用适量，煎汤熏洗。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">注意</td> </tr> </table>	性味与归经		苦、辛，微寒。归脾、胃、肝、胆经。		功能与主治		清利湿热，利胆退黄。用于黄疸尿少，湿温暑湿，湿疮痒疹。		用法与用量		6~15g。外用适量，煎汤熏洗。		注意	
性味与归经															
苦、辛，微寒。归脾、胃、肝、胆经。															
功能与主治															
清利湿热，利胆退黄。用于黄疸尿少，湿温暑湿，湿疮痒疹。															
用法与用量															
6~15g。外用适量，煎汤熏洗。															
注意															
<p>灰分 9.0%以下.</p>															
<p>酸不溶性 2.0%以下. 灰分</p> <p>エキス含量 希エタノールエキス 15.0%以上.</p>															
<p>精油含量</p>															
<p>掲載頁 1450</p> <p>備考</p>	<p>223</p>														

<p>生薬名 ウイキョウ 茴香</p> <p>別名</p>	<p>小茴香 Xiaohuixiang</p> <p>慣用名</p>										
<p>英語名 Fennel</p>											
<p>ラテン名 Foeniculi Fructus</p> <p>学名 ウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> Miller</p>	<p>Foeniculi Fructus</p> <p>茴香 <i>Foeniculum vulgare</i> Mill.</p>										
<p>植物科名 Umbelliferae / セリ科</p> <p>部位 果実</p>	<p>伞形科</p> <p>干燥成熟果实</p>										
<p>定量</p>	<p>本品含反式茴香脑 [Trans-anethole] (C₁₀H₁₂O) 不得少于1.4%。</p>										
<p>乾燥減量</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="616 1183 1047 1271"></td> <td data-bbox="1047 1183 1478 1271"> <p>性味与归经</p> <p>辛，温。归肝、肾、脾、胃经。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1271 1047 1360"></td> <td data-bbox="1047 1271 1478 1360"> <p>功能与主治</p> <p>散寒止痛，理气和胃。用于寒疝腹痛，睾丸偏坠，痛经，少腹冷痛，脘腹胀痛，食少吐泻。盐小茴香暖肾散寒止痛。用于寒疝腹痛，睾丸偏坠，经寒腹痛。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1360 1047 1448"></td> <td data-bbox="1047 1360 1478 1448"> <p>用法与用量</p> <p>3~6g。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1448 1047 1537"></td> <td data-bbox="1047 1448 1478 1537"> <p>注意</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1537 1478 1758"></td> <td data-bbox="1047 1537 1478 1758"></td> </tr> </table>		<p>性味与归经</p> <p>辛，温。归肝、肾、脾、胃经。</p>		<p>功能与主治</p> <p>散寒止痛，理气和胃。用于寒疝腹痛，睾丸偏坠，痛经，少腹冷痛，脘腹胀痛，食少吐泻。盐小茴香暖肾散寒止痛。用于寒疝腹痛，睾丸偏坠，经寒腹痛。</p>		<p>用法与用量</p> <p>3~6g。</p>		<p>注意</p>		
		<p>性味与归经</p> <p>辛，温。归肝、肾、脾、胃经。</p>									
		<p>功能与主治</p> <p>散寒止痛，理气和胃。用于寒疝腹痛，睾丸偏坠，痛经，少腹冷痛，脘腹胀痛，食少吐泻。盐小茴香暖肾散寒止痛。用于寒疝腹痛，睾丸偏坠，经寒腹痛。</p>									
		<p>用法与用量</p> <p>3~6g。</p>									
		<p>注意</p>									
<p>灰分 10.0%以下。</p>											
<p>酸不溶性灰分 1.5%以下。</p>											
<p>エキス含量</p>											
<p>精油含量 本品の粉末50.0gをとり，試験を行うとき，その量は0.7mL以上である。</p>											
<p>掲載頁 1451</p> <p>備考</p>	<p>44</p>										

生薬名 **ウコン**
鬱金
別名

姜黄
Jianghuang

慣用名

英語名 Turmeric

ラテン名 *Curcumae Rhizoma*
学名 *ウコン Curcuma longa* Linn.

Curcumae Longae Rhizoma
姜黄 *Curcuma longa* L.

植物科名 Zingiberaceae / ショウガ科
部位 根茎をそのまま又はコルク層を除いたものを、通例、湯通ししたもの。
定量 純クルクミノイド(クルクミン、デメトキシクルクミン及びビスデメトキシクルクミン)1.0~5.0%を含む。

姜科
干燥根茎
挥发油: 本品含挥发油不得少于7.0%(ml/g)。姜黄素: 本品按干燥品计算, 含姜黄素[Curcumin] (C₂₁H₂₀O₆) 不得少于1.0%。

乾燥減量 17.0%以下(6時間).

灰分 7.5%以下.

酸不溶性 1.0%以下.
灰分

エキス含量 希エタノールエキス 9.0%以上.

精油含量

性味与归经	
辛、苦、温。归脾、肝经。	
功能与主治	
破血行气, 通经止痛。用于胸胁刺痛, 闭经, 癥瘕, 风湿肩臂疼痛, 跌扑肿痛。	
用法与用量	
3~10g。	
注意	
不宜与丁香、母丁香同用。	

掲載頁 1452
備考

247

(附録2)

『一般用漢方処方の手引き』処方一覧

No.	処方名	No.	処方名
1	安中散	○	51 桂枝加黄耆湯
2	安中散加茯苓		52 桂枝加葛根湯
3	胃風湯		53 桂枝加厚朴杏仁湯
4	胃苓湯		54 桂枝加芍薬生姜人参湯
5	茵陳蒿湯		55 桂枝加芍薬大黄湯
6	茵陳五苓散		56 桂枝加芍薬湯
7	温経湯		57 桂枝加朮附湯
8	温清飲		58 桂枝加竜骨牡蛎湯
9	温胆湯		59 桂枝加苓朮附湯
10	延年半夏湯		60 桂枝湯
11	黄耆桂枝五物湯		61 桂枝人参湯
12	黄耆建中湯		62 桂枝茯苓丸
13	黄芩湯		63 桂枝茯苓丸料加薏苡仁
14	応鐘散(芍黄散)		64 啓脾湯
15	黄連阿膠湯		65 荊防敗毒散
16	黄連解毒湯		66 桂麻各半湯
17	黄連湯		67 鷄鳴散加茯苓
18	乙字湯		68 堅中湯
19	乙字湯去大黄		69 甲字湯
20	解勞散		70 香砂平胃散
21	化食養脾湯		71 香砂養胃湯
22	藿香正気散		72 香砂六君子湯
23	葛根黄連黄芩湯	○	73 香蘇散
24	葛根紅花湯		74 厚朴生姜半夏人参甘草湯
25	葛根湯		75 杞菊地黄丸
26	葛根湯加川芎辛夷		76 五虎湯
27	加味温胆湯		77 牛膝散
28	加味帰脾湯		78 五積散
29	加味解毒湯		79 牛車腎気丸
30	加味四物湯		80 呉茱萸湯
31	加味逍遙散	○	81 五物解毒散
32	加味逍遙散加川芎地黄 (加味逍遙散合四物湯)		82 五淋散
33	加味平胃散		83 五苓散
34	乾姜人参半夏丸		84 柴陥湯
35	甘草瀉心湯		85 柴胡加竜骨牡蛎湯
36	甘草湯		86 柴胡桂枝乾姜湯
37	甘麦大棗湯		87 柴胡桂枝湯
38	帰耆建中湯		88 柴胡清肝湯
39	桔梗湯		89 柴胡疎肝湯
40	枳縮二陳湯		90 柴芍六君子湯
41	帰脾湯	○	91 柴蘇飲
42	芍帰膠艾湯		92 柴朴湯
43	芍帰調血飲		93 柴苓湯
44	芍帰詞血飲第一加減		94 左突膏
45	響声破笛丸		95 三黄散
46	杏蘇散		96 三黄瀉心湯
47	苦参湯		97 酸棗仁湯
48	驅風解毒散(湯)		98 三物黄芩湯
49	荊芥連翹湯		99 滋陰降火湯
50	鷄肝丸		100 滋陰至宝湯

(附録2)

『一般用漢方処方の手引き』処方一覧

No.	処方名	No.	処方名
101	紫雲膏	○	151 大黄牡丹皮湯
102	四逆散		152 大建中湯
103	四君子湯	○	153 大柴胡湯
104	滋血潤腸湯		154 大柴胡湯去大黄
105	七物降下湯		155 大半夏湯
106	柿蒂湯		156 沢瀉湯
107	四物湯	○	157 竹茹温胆湯
108	炙甘草湯		158 竹葉石膏湯
109	芍薬甘草湯		159 治頭蒼一方
110	芍薬甘草附子湯		160 治頭蒼一方去大黄
111	鷓鴣菜湯(三味鷓鴣菜湯)		161 治打撲一方
112	蛇床子湯		162 知柏地黄丸
113	十全大補湯	○	163 中黄膏
114	十味敗毒湯		164 中建中湯
115	潤腸湯		165 調胃承気湯
116	蒸眼一方		166 丁香柿蒂湯
117	生姜瀉心湯		167 釣藤散
118	小建中湯	○	168 猪苓湯
119	小柴胡湯	○	169 猪苓湯合四物湯
120	小柴胡湯加桔梗石膏		170 通導散
121	小承気湯		171 定悸飲
122	小青竜湯	○	172 桃核承気湯
123	小青竜湯加杏仁石膏 (小青竜湯合麻杏甘石湯)		173 当帰飲子
124	小青竜湯加石膏		174 当帰建中湯
125	椒梅湯		175 当帰散
126	小半夏加茯苓湯		176 当帰四逆加呉茱萸生姜湯
127	消風散		177 当帰四逆湯
128	升麻葛根湯		178 当帰芍薬散
129	逍遥散(八味逍遥散)	○	179 当帰芍薬散加黄耆釣藤
130	四苓湯		180 当帰芍薬散加人参
131	辛夷清肺湯		181 当帰芍薬散加附子
132	秦艽羌活湯		182 当帰湯
133	秦艽防風湯		183 当帰貝母苦参丸料
134	参蘇飲	○	184 独活葛根湯
135	神秘湯		185 独活湯
136	参苓白朮散	○	186 二朮湯
137	清肌安蛔湯		187 二陳湯
138	清湿化痰湯		188 女神散(安栄湯)
139	清上蠲痛湯(驅風触痛湯)		189 人参湯(理中丸)
140	清上防風湯		190 人参養栄湯
141	清暑益気湯	○	191 排膿散
142	清心蓮子飲		192 排膿散及湯
143	清肺湯		193 排膿湯
144	折衝飲		194 麦門冬湯
145	川芎茶調散	○	195 八解散
146	千金鷄鳴散		196 八味地黄丸
147	錢氏白朮散		197 半夏厚朴湯
148	疎経活血湯		198 半夏瀉心湯
149	蘇子降気湯	○	199 半夏白朮天麻湯
150	大黄甘草湯		200 白虎加桂枝湯

(附録2)

『一般用漢方処方の手引き』処方一覧

No.	処方名	No.	処方名
201	白虎加人参湯	219	麻杏甘石湯
202	白虎湯	220	麻杏薏甘湯
203	不換金正気散	221	麻子仁丸
204	伏竜肝湯	222	味麦地黄丸
205	茯苓飲	223	明朗飲
206	茯苓飲加半夏	224	楊柏散
207	茯苓飲合半夏厚朴湯	225	薏苡仁湯
208	茯苓沢瀉湯	226	抑肝散
209	附子理中湯	227	抑肝散加芍薬黄連
210	分消湯(実脾飲)	228	抑肝散加陳皮半夏
211	平胃散	229	六君子湯
212	防已黄耆湯	230	立効散
213	防已茯苓湯	231	竜胆瀉肝湯
214	防風通聖散	232	苓姜朮甘湯
215	補気健中湯	233	苓桂甘棗湯
216	補中益気湯	234	苓桂朮甘湯
217	補肺湯	235	連珠飲
218	麻黄湯	236	六味丸(六味地黄丸)

	中国薬典	一般用漢方処方の手引き	中医臨床のための方剤学
方剂名	安中片	安中散	安中散
処方	桂枝 180g, 醋延胡索 180g, 煅牡蛎 180g, 小茴香 120g, 砂仁 120g, 高良姜 60g, 甘草 120g	あんちゅうさん 桂皮 3-5, 延胡索 3-4, 牡蛎 3-4, 茴香 1.5-2, 縮砂 1-2, 甘草 1-2, 良姜 0.5-1	甘草 1g, 延胡索 3g, 高良姜 1g, 小茴香 1g, 肉桂 4g, 牡蛎 3g, 砂仁 2g
効能・主治	温中散寒, 理气止痛, 和胃止呕。 用于阳虚胃寒所致的胃痛, 症见胃痛绵绵, 畏寒喜暖, 泛吐清水, 神疲肢冷; 慢性胃炎, 胃及十二指肠溃疡见上述证候者。	体力中等度以上で, 腹部は力がなくて, 胃痛又は腹痛があつて, ときに胸やけや, げっぷ, 胃もたれ, 食欲不振, はきけ, 嘔吐などを伴うものの次の諸症: 神経性胃炎, 慢性胃炎, 胃腸虚弱	温中降気・止痛。 裏寒の疼痛。
用法・用量	口服, 一次4-6片, 儿童一次2-3片, 一日3次。薄膜衣片: 一次2-3片, 儿童一次1-1.5片; 一日3次。	(1) 散: 1回 1-2g, 1日2-3回 (2) 湯	粉末にし1回3gを頓服する。
製法	以上七味, 桂枝36g和煅牡蛎72g粉碎成细粉, 取用80g, 其余备用; 醋延胡索用70%乙醇作溶剂, 进行渗漉, 收集滤液, 回收乙醇, 备用; 小茴香, 砂仁, 高良姜与剩余桂枝蒸馏, 收集挥发油, 药渣与上述各用粉末、甘草及剩余煅牡蛎和蒸馏后的药液加水煎煮三次, 合并煎液, 滤过, 滤液浓缩至约1000ml, 静置, 滤过, 滤液与上述清膏合并, 浓缩成稠膏, 加入煅牡蛎等细粉, 混匀, 干燥, 研细, 加入蔗糖粉和淀粉适量, 混匀, 制成颗粒, 干燥, 加入挥发油, 混匀, 压制2500片, 即得; 或加入辅料适量, 混匀, 制成颗粒, 干燥, 加入挥发油, 混匀, 压制成1000片, 包薄膜衣, 即得。	原典 太平惠民和剂局方 出典 勿誤薬室方函口訣	出典
注意	急性胃炎、出血性潰瘍禁用。		
備考			
掲載頁	708	3	203

	中国薬典	一般用漢方処方の手引き	中医臨床のための方剤学
方剤名	葛根芩連丸	葛根黄連黄芩湯	葛根黄芩黄連湯
処方	葛根 1000g, 黄芩 375g, 黄連 375g, 炙甘草 250g	葛根 5-6, 黄連 3, 黄芩 3, 甘草 2 かっこんおうれんおうごんとう	葛根 18g, 炙甘草 6g, 黄芩 9g, 黄連 9g
効能・主治	解肌透表, 清熱解毒, 利湿止瀉。用于湿熱蘊結所致的泄瀉腹痛, 便黃而黏, 肛門灼熱; 及風熱感冒所致的發熱惡風, 頭痛身痛。	体力中等度のものの次の諸症: 下痢, 急性胃腸炎, 口内炎, 舌炎, 肩こり, 不眠	解肌・清熱止痢。 外感表証未解・熱邪入裏。発熱・下痢・肛門の灼熱感・胸腹の熱感・口渴・呼吸促迫・汗が出る・舌苔が黄・脈が数など。
用法・用量	口服。一次3g; 小兒一次1g, 一日3次; 或遵医嘱。	湯	水煎服。
製法	以上四味, 取黄芩, 黄連, 分別用50%乙醇作溶剂, 浸漬24小时后进行滲漉, 收集漉液, 回收乙醇, 并适当浓缩; 葛根加水先煎30分钟, 再加入黄芩、黄連药渣及炙甘草, 继续煎煮二次, 每次1.5小时, 合并煎液, 滤过, 滤液浓缩至适量, 加入上述浓缩液, 继续浓缩成稠膏, 减压低温干燥, 粉碎成最细粉, 用乙醇为湿润剂, 泛丸, 得300g, 过筛, 于60℃以下干燥, 即得。	原典 傷寒論 出典	出典
注意			
備考			
掲載頁	1146	26	220 23

	中国薬典	一般用漢方処方の手引き	中医臨床のための方剤学
方剤名	加味逍遥丸	加味逍遥散	加味逍遥散
		かみしょうようさん	
処方	柴胡 300g, 当归 300g, 白芍 300g, 白朮(麸炒) 300g, 茯苓 300g, 甘草 240g, 牡丹皮 450g, 梔子(姜炙) 450g, 薄荷 60g。	当帰 3, 芍薬 3, 白朮 3(蒼朮も可), 茯苓 3, 柴胡 3, 牡丹皮 2, 山梔子 2, 甘草 1.5-2, 生姜 1, 薄荷葉 1。	柴胡・当帰・白芍・白朮・茯苓 各9g, 炙甘草 4.5g, 煨姜 3g, 薄荷 1g, 牡丹皮・山梔子 各3g。 <内科摘要>
効能・主治	舒肝清热, 健脾养血。 用于肝郁血虚, 肝脾不和, 两胁胀痛, 头晕目眩, 倦怠食少, 月经不调, 脐腹胀痛。	体力中等度以下で、のぼせ感があり、肩がこり、疲れやすく、精神不安やいらだちなどの精神神経症状、ときに便秘の傾向のあるものの次の諸症: 冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症*、不眠症。	疏肝健脾・和血調経・瀉火。 肝鬱血虚・化火で、いらいら・怒りっぽい・顔面紅潮・口乾・脈が弦数などをともなうもの。 <内科摘要>
用法・用量	口服, 一次6g, 一日2次。	湯	水煎服。
製法	以上九味, 粉碎成細粉, 过篩, 混勻。另取生姜100g, 煎液泛丸, 干燥, 即得。	原典 万病回春 出典	出典 内科摘要
注意	切忌气恼劳碌;忌食生冷油腻。		
備考		* 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。	別名: 丹梔逍遥散
掲載頁	667	32	113 31

	中国薬典	一般用漢方処方の手引き	中医臨床のための方剤学
方剤名	归脾丸	帰脾湯	帰脾湯
処方	党参 80g, 炒白朮 160g, 炙黄芪 80g, 炙甘草 40g, 茯苓 160g, 制远志 160g, 炒酸枣仁 80g, 龙眼肉 160g, 当归 160g, 木香 40g, 大枣 (去核) 40g。	人参 2~4, 白朮 2~4 (蒼朮も可), 茯苓 2~4, 酸棗仁 2~4, 竜眼肉 2~4, 黄耆 2~4, 当帰 2, 遠志 1~2, 甘草 1, 木香 1, 大棗 1~2, 生姜 1~1.5。	白朮・茯苓・黄耆・竜眼肉・酸棗仁 各9g, 人参・木香 各4.5g, 炙甘草・当帰・遠志 各3g。
効能・主治	益気健脾, 养血安神。 用于心脾两虚, 气短心悸, 失眠多梦, 头昏头晕, 肢倦乏力, 食欲不振, 崩漏便血。	体力中等度以下で、心身が疲れ、血色が悪いものの次の諸症： 貧血、不眠症、神経症、精神不安。	益気補血・健脾養心。 (1) 心脾両虚 動悸・健忘・不眠・発熱・食欲不振・倦怠感・顔色が萎黄・舌質は淡・舌苔は薄白・脈は細緩など。 (2) 脾不統血 血便・皮下出血・不正性器出血・月経周期の短縮・経血色が淡く量が多い・月経の持続が長い・帯下など。
用法・用量	用温开水或生姜汤送服。水蜜丸一次6g, 小蜜丸一次9g, 大蜜丸一次丸, 一日3次。	湯	生姜・大棗と水煎服用する。上記の割合で蜜丸にし, 1日3回15gずつ服用してもよい。
製法	以上十一味, 粉碎成細粉, 过篩, 混勻。每100g粉末用煉蜜25~40g 加适量的水泛丸, 干燥, 制成水蜜丸;或加煉蜜80~90g制成小蜜丸或大蜜丸, 即得。	原典 濟生方 出典 内科摘要	出典
注意			
備考			
掲載頁	643	43	239

	中国薬典	一般用漢方処方の手引き	中医臨床のための方剤学
方剤名	桂枝茯苓丸	桂枝茯苓丸	桂枝茯苓丸
処方	桂枝 100g, 茯苓 100g, 牡丹皮 100g, 白芍 100g, 桃仁 100g。	けいしぶくりようがん 桂皮 3~4, 茯苓 4, 牡丹皮 3~4, 桃仁 4, 芍薬 4。	桂枝・茯苓・牡丹皮・桃仁・赤芍 各9g。
効能・主治	活血, 化瘀, 消癥。 用于妇人宿有癥块, 或血瘀经闭, 行经腹痛, 产后恶露不尽。	比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの次の諸症： 月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症*、肩こり、めまい、頭重、打ち身(打撲症)、しもやけ、しみ、湿疹・皮膚炎、にきび。	活血化瘀・緩消癥塊。 血瘀・癥塊。下腹部の腫瘤・圧痛・腹のひきつり・脈が渋、あるいは不正性器出血・月経痛・無月経、あるいは難産・胎盤残留・死胎の残留・悪露停滞など。
用法・用量	口服, 一次1丸, 一日1~2次。	(1) 散: 1回2~3g 1日3回 (2) 湯	水煎服。粉末を蜜丸にし、1日3~6gを服用してもよい。
製法	以上五味, 粉碎成細粉, 过篩, 混勻, 每100g粉末加炼蜜90~110g, 制成大蜜丸, 即得。	原典 金匱要略 出典	出典
注意	孕妇慎用。		
備考		* 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。	
掲載頁	984	64	374

中国薬典

一般用漢方処方の手引き

中医臨床のための方剤学

方剤名	启脾丸	啓脾湯	啓脾湯
処方	人参 100g, 炒白朮 100g, 茯苓 100g, 甘草 50g, 陳皮 50g, 山薬 100g, 蓮子(炒) 100g, 炒山楂 50g, 六神曲(炒) 80g, 炒麦芽 50g, 澤瀉 50g。	人参 3, 白朮 3-4 (蒼朮も可), 茯苓 3-4, 蓮肉 3, 山薬 3, 山楂子 2, 陳皮 2, 沢瀉 2, 大棗 1, 生姜 1 (ヒネシヨウガを使用する場合 3), 甘草 1 (大棗, 生姜はなくても可)。	人参 6g, 白朮・茯苓 各 9g, 蓮子・山薬 各 6g, 山楂子・陳皮・沢瀉 各 3g, 生姜・大棗・炙甘草 各 2g。
効能・主治	健脾和胃。 用于脾胃虚弱, 消化不良, 腹胀便溏。	体力虚弱で、瘦せて顔色が悪く、食欲がなく、下痢の傾向があるものの次の諸症： 胃腸虚弱、慢性胃腸炎、消化不良、下痢。	補気健脾・化湿・滋補脾陰。 脾虚湿盛・脾気陰両虚。
用法・用量	口服, 一次1丸, 一日2~3次; 三岁以内小儿酌減。	(1) 散: 1回1~2g, 1日3回 (2) 湯	水煎服。
製法	以上十一味, 粉碎成細粉, 过篩, 混勻。每100g粉末加煉蜜120~140g制成大蜜丸, 即得。	原典 万病回春 出典 当壮庵家方口解	出典
注意			
備考			
掲載頁	779	67	276

	中国薬典	一般用漢方処方の手引き	中医臨床のための方剤学
方剤名	香砂養胃丸	香砂養胃湯	
		こうしゃよういとう	
処方	木香 210g, 砂仁 210g, 白朮 300g, 陳皮 300g, 茯苓 300g, 半夏(制) 300g, 醋香附 210g, 枳實(炒) 210g, 豆蔻(去壳) 210g, 姜厚朴 210g, 广藿香 210g, 甘草 90g。	白朮 2.5~3, 茯苓 2.5~3, 蒼朮 2, 厚朴 2~2.5, 陳皮 2~2.5, 香附子 2~2.5, 白豆蔻 2 (小豆蔻代用可), 人參 1.5~2, 木香 1.5, 縮砂 1.5~2.5, 甘草 1.5~2.5, 大棗 1.5~2.5, 生姜 0.7~1。	
効能・主治	温中和胃。 用于胃阳不足、湿阻气滞所致的胃痛、痞满、症见胃痛隐隐、脘闷不舒、呕吐酸水、嘈杂不适、不思饮食、四肢倦怠。	体力虚弱なもの次の諸症： 胃弱、胃腸虚弱、慢性胃腸炎、食欲不振。	
用法・用量	口服，一次9g，一日2次。	湯	
製法	以上十二味、粉碎成細粉、過篩、混勻。另取切碎的生姜90g、大棗150g、分次加水煎煮、濾過。取上述粉末、用煎液泛丸、以总量5%的滑石粉—四氧化三鐵(1:1)的混合物包衣、低溫干燥、即得。	原典 万病回春 出典	出典
注意			
備考			
掲載頁	899	74	71

厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)
分担研究報告書

東アジアの伝統医学で使用される薬物に関する研究

研究分担者 御影 雅幸 金沢大学医薬保健研究域薬学系教授

研究要旨

東洋医学の一端を担うインド伝統医学(アーユルヴェーダ)は東アジアに伝播し、現在ではタイやミャンマーで独自の伝統医学として受け継がれている。アーユルヴェーダの特徴の一つとして、身近な薬草を利用する考え方があり、タイやミャンマーは気候がインドに似ており、共通する国産薬草も多い。一方、中国新疆省などではユナニー医学に基づくウイグル医学が行なわれている。本研究では、東アジアで行なわれているアーユルヴェーダおよびウイグル医学を調査する目的で、タイ北部のチェンマイおよび中国新疆省和田(ホータン)を訪問調査した。その結果、タイにおける薬物名は概ねタイ語由来であることが明らかになった。一方、ウイグル薬物の中にはサンスクリット語由来と考えられるものが認められた。

A.研究目的

東洋の伝統医学には中国医学とインド医学(アーユルヴェーダ)がある。

中でもアーユルヴェーダは東アジアへも影響を及ぼし、タイやミャンマーでは現在も独自の伝統医学として受け継がれている。一方、東アジアに済むウイグル族は中東付近に発祥したユナニー医学に基づくとされるウイグル医学を行なっている。よって、東アジアの伝統医学を総合的に論じる際には、アーユルヴェーダや中国医学以外にもウイグル薬物をも考慮する必要がある。そこで、本研究ではタイのチェンマイでアーユルヴェーダに基づく伝統医学の実態を調査するとともに、中国新疆省和田でウイグル薬物の調査を行い、中国医学などとも比較し、東アジアにおける伝統医学の全体を把握することを目的とした。

B.研究方法

平成24年7月下旬にタイのチェンマイへ赴き、チェンマイ大学を訪問し、薬学部のパニー・シラサード教授らの案内でタイ伝統医学に関する博物館を見学し、さらに理学部のタニヤラット講師らの案内でチェンマイ市内で薬物市場調査を行なった。さらに、チェンマイの東北部にあるチャンダオ村にて民間薬の調査も行なった。入手した薬物は全てタイ語で記されており、帰国後はタイからの留学生の協力で英語に翻訳した。また、現地でコピーした Medicinal Plants in Thailand その他の文献を調査し、

入手した薬物の原植物の解明を行なった。また、タイでは多くの野生植物を食用しており、アーユルヴェーダ的な健康増進に役立っていると思われたので、関連書物入手し、タイ人留学生の協力で内容を翻訳した。

6月下旬から訪問した中国新疆省和田では、ウイグル薬物店および医院を訪問調査し、92種の薬物入手した。得られた薬物の情報は全てウイグル文字であったため、新疆省からの留学生の協力を得て翻訳した。

(倫理面への配慮)

該当なし

C.研究結果

チェンマイ市内の薬局ではアーユルヴェーダに基づく製剤あるいは煎じ薬として調合されたものが市販されており、生薬の個々を入手することができなかった。それらはバンコク市場で入手できるという情報を得て再度タイを訪問する計画をたてたが、その後のバンコク地方の洪水のため調査できなかった。チャンダオ村では民間薬を売る店が建ち並ぶ一角があり、とくに著名な27種の生薬を入手した(表1)。それらの中には、*Aegle marmelos*, *Caesalpinia sappan* などインドで多用されているアーユルヴェーダ薬物そのものがあり、また *Pueraria* 属, *Clerodendrum* 属, *Butea* 属, *Piper* 属など、属レベルでインド伝統医学と共通するものが多く見受けられた。一方、*Lycium chinense* や *Lycium barbarum* は現在中国医学で利用さ

れている薬物（枸杞）と共通するもので、中国医学の影響も考えられるが、明らかに中国医学の影響を受けた薬物は他には見られなかった。全般に薬物の名称についてはタイ語独自のものが多いと判断された。

タイでは健康促進を目的に野生植物が多く食されており、市場でも市販されていた。今回、関連書物入手して調査した結果、かなり詳細な情報が得られた（表2）。

ウイグル薬物にも多くのアーユルヴェーダと共通する薬物が含まれていた。その中で、*Santalum album* の材を AKSANDAL, *Terminalia chebura* 果実を KARA HILIRA, *Piper longum* を PIL-PIL などと称しており、数種の薬物名にサンスクリット語の影響があると考えられた（表3）。

D. 考察

タイの伝統医学はアーユルヴェーダに基づくことは明らかであるが、薬物名はタイ語独自のものであった。タイは多民族国家であり、多くの言語があることから、今後は他の民族の薬物名も調査する必要がある。一方、タイでは健康促進を目的に野生植物が多く食されている。今回調査した書籍からは薬効に関する知識は得られなかったが、アーユルヴェーダの身土不二の考えに則って食されているものと考えられる。これら食材の機能性に関する研究は今後の課題である。

ウイグル薬物はユナニー医学に起因するとされるが、今回の調査地は中国国内であり、実態の解明には更なる詳細な調査が必要である。なお、調査地とした和田（ホータン）はウイグル族が97%を占める地域であり、中国医学の影響は見られなかった。ウイグル薬物は約2000種あるという情報が得られ、今回の調査結果を基に、今後は文献をも調査して東アジア全域の伝統医学の実態を把握する必要がある。

E. 結論

東アジアでは、中国医学の他に、インド伝統医学（アーユルヴェーダ）やユナニー医学の影響を受けたウイグル医学も行なわれており、本研究を通じてその実態に迫ることができた。タイではタイ語独自の薬物名のみが使用されていた。一方、中国新疆省でのウイグル薬物は基本的にウイグル語であるが、サンスクリット名に由来すると考えられるものも認められた。

以上、東アジアにおける伝統医学はたいへん複雑で、全体を把握するには更なる詳細な調査が必要である。また、そのためには言葉の壁が大きく、今後は現地の研究者との交流も欠かせないであろう。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

○ Ayako Fukazawa, Masaya Yamaguchi, Fumihide Takano, Masayuki Mikage
Studies for developing Japanese Taila, an Ayurvedic medicated oil, *J. Trad. Med.*, **29**(1), 18-24 (2012)

2. 学会発表

○ 御影雅幸：アーユルヴェーダ薬物の中国への伝播。第32回日本アーユルヴェーダ学会金沢研究総会，2011年10月29～30日，金沢。

○ 堂井美里：インドにおけるアーユルヴェーダ治療の実情調査。同上学会。

○ 深澤彩子，御影雅幸：KS3 Jatyadi Taila の使用状況と製剤方法の調査報告。同上学会。

○ 奥津果優，黒谷亜利沙，御影雅幸：OP2-4 アーユルヴェーダ薬酒「Arishta」とチンキ剤の比較研究。同上学会。

○ 橋本奈々子，御影雅幸：OP2-5 アーユルヴェーダ三果の国産代替品開発研究～タンニン類・ビタミンC含量を指標として～。同上学会。

○ FUKAZAWA Ayako, TAKANO Fumihide, MIKAGE Masayuki : Studies for developing Japanese Taila, an Ayurvedic medicated oil. The 6th CCTCNM-KSP-JSP Joint Symposium on Pharmacognosy, Oct. 21, 2011, Shenyang

○ 深澤彩子，御影雅幸：Kshara Sutra 施術後に使用される Jatyadi Taila について。第8回クシャラ・スートラ研究会，2011年4月10日，富山。

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定も含む)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

表1:タイ産生薬

No.	Registered No.	Thai pronunciation	Act on (used for)	Remark	Way for using	Species and Family
1	8168	Samouphai kwaokreu khao	breast cancer; estrogen-like, recovery from emmenia; amnesia	krao(white)	crumble; boil; make eat with milk; after meal	<i>Pueraria mirifica</i> Airy Shaw et Suvatab.
2	8169	Samouphai	a gallstone; calculus; kidney; bile			
3	8170	Non tai yak	parasite, cancer, itchy skin, diuretic; good for blood circle			<i>Stemona tuberosa</i> Lour
4	8171	Samounphai kwaokreudum	get power; black hair, good for brain, prolong life; care pain, kidney disease, allergy, calculus; aphrodisiac	samounphai(herb), kwaokreu(生薬基原名), dum(black)	boil, then add salt for storage, or make into pilule with honey; Also can be put 4-5 peaces into alcohol. Drink after meal	<i>Pueraria mirifica</i> Airy Shaw et Suvatabandhu
5	8172	Paya rak deaoy	detoxifcation	paya(king), rak(root), deaoy(only one)		<i>Clerodendrum petasites</i> S. Moore
6	8173	Matoomheaug	refreshment for tiredness	matoomheaug(生薬基原名), heang(dry)		<i>Aegle marmelos</i> (L.) Corr. Serr.
7	8174	Sao nog tok teing OR kwang hee jae	get power; care pain			
8	8175	Ya tum mai noom wua	lactogenic; pain in joint and bone; pain in back and waist; prostatitis	ya(medicine); tum(boil); mai(wood); noom(milk); wua(cow)		<i>Uvaria rufa</i> Bl.
9	8176	Mai fhang	good for blood circle; jaundice; get power	mai(wood), fhang(生薬基原樹名)		<i>Caesalpinia sappan</i> L.
10	8177	Yaei whan	instead of sugar; diabetes; blood pressure, lipid decrease; allergy; antitussive; hemicrania		boil to make tea, 5-10 pieces	<i>Stevia rebaudiana</i> Bertoni
11	8178	Samounphai kwaokreudang	good for brain; get power; relief from tiredness; aphrodisiac; similar to Panax, hair loss and turning white hair gradually			<i>Butea superba</i> Roxb.
12	8179	Kumlung seua khrong	pain in joint and bone; paralysis			<i>Betula alnoides</i>
13	8180	Keab rad	diabetes, high blood pressure, high blood-fat	keab(hoof), rad(rhinoceros)		<i>Angiopteris evecta</i> (G.Forst.) Hoffm.
14	8181	Aoy dum	good for liver and kidney; relax muscle			<i>Saccharum officinarum</i> Linn.
15	8182	Jukhandang	pain in joint and bone; paralysis	jukhan(生薬基原樹名), dang(red)		<i>Piper ribesoides</i> Wall.
16	8183	Tueng krue kham	asthma; allergy; to expand and magnify trachea and bronchus			<i>Strychnos viridiflora</i> A.W. Hill

17	8184	Samounphai sabouleud	cancer,diabetes,anemia,headache; get power	samounphai(herb) sabou(soap) leud(blood)	boil,can be eat with honey and made into pilule	<i>Stephania venosa</i> (Blume) Spreng
18	8185	Samounphai ham	diabetes,high blood pressure,high blood-fat and blood circle difficulty			<i>Coscinium fenestratum</i>
19	8186	Magrateabrong	pain in back and waist	ma(馬), grateab(stamp)		<i>Ficus pubigera</i> Wall, <i>Moraceae</i>
20	8187	Wan chak modlook	menstrual heat; hernia; uterine pain; astriction	wan(bulb plant), modlook(womb)	boil,2-3 pieces	<i>Curcuma xanthorrhiza</i> Roxb.
21	8188	Jukhan krao	tension,pain,muscular tissues,paralysis; good for blood circle	krao(white)		<i>Piper ribesoides</i> Wall.
22	8189	Hoh sapai kwai	pain in back and waist; pain in joint and bone; paralysis	kwai(buffalo)		<i>Reissanithia grahamii</i>
23	8190	Taowan peang	pain in back and waist; birth pain; tensional stiffness		boil	<i>Derris scandens</i> Benth.
24	8191	Kaogee				<i>Lycium Chinese</i> / <i>Lycium Babarum</i> , <i>Solanaceae</i>
25	8192	Makhwan				<i>Zanthoxylum limonella</i> (Dennst.) Alston
26	8193	Samounphai pao leud	purify blood;jaundice and migraine	pao(goal or heart), leud(blood)		<i>Croton robustus</i> Kurz
27	8216	No name				

表 2 : タイ産野生食用植物 Native Vegetable in Thailand

Plant name	Scientific name	How to eat
Krod	-	The young fruits are edible raw.
Krajeab Dang (Krajeab Piew, Som Siew, Som Por Mhor, Som Ta Leang Krang, Som Pu, Som Geng Khang, Pug Geng Khang)	<i>Hibiscus sabdariffa</i> <i>Linn.</i>	The young leaves, young shoots and sepals are cooked in a sour-peppery soup (Kang Som).
Kratin (Tor Bao, Tor Tae)	<i>Leucaena leucocephala</i>	The young shoots and leaves are edible raw. Seeds eat with Thai vermicelli.
Kratae Tai Mai (Hua Wow)	<i>Drynaria qurcifolia</i>	The young leaves are edible raw.
Kratue (Tue, Kravan, Kra-ann)	<i>Zingiber zerumbet</i> <i>Smith.</i>	The buds, rhizomes and young inflorescence flowers are boiled and eat with chili sauce or make a spicy curry or stir fried.
Krawan (Krawan Jun, Krawan Potisut, Krawan Dum, Krawan Dang, Krawan Khao)	<i>Amomum krervanh</i> <i>Pierre</i>	The young fruits are edible raw. The ripe fruits are used as spices. The young roots mix in the curry.
Krasung (Pug Sung)	<i>Peperomia pellucid</i>	The stems and leaves are steamed and eat them with chili sauce.
Kluy	<i>Musa sapientum</i> <i>Linn.</i>	Banana blossom (bracts) and banana stalk (pseudostem) are boiled and eat them with chili sauce or curry.
Ka Por (Por)	<i>Licuala peltata</i> <i>Roxb.</i>	The buds, rhizomes and young inflorescence flowers are boiled and eat them with chili sauce or cook curry or stir fried.
Gam Kung	<i>Lantana aculeate</i>	The shoots are blanched and eat as a vegetable. Cook in spicy mixed vegetable soup, sour-peppery soup (Kang Som), Kaeng Tai Pla.
Ga Ra Yai	-	The flowers were cooked in curry or were boiled to eat with chili sauce.
Ga La (Da La, Ga La, Jin Ta La)	<i>Phaeomeria magnifera</i> <i>Nicolcia speciosa</i>	The flower buds eat with chili sauce. Flower, cut into small pieces. Mix in Khao Yum or spicy salad.
Gum Jud	<i>Zanthoxylum rhetsa</i>	Seeds mixed with spices. That make more spicy and fragrant. The young leaves eat as a vegetable.
Gum Lung Kway Tuek	-	The shoots and young leaves are edible raw or use to make spicy mixed vegetable soup.
Goom Nam	<i>Crateva roxburghii</i> <i>R.Br.</i> <i>Cratev magna</i> <i>DC.</i> <i>Crateva adansonii</i>	The flowers or young leaves are blanched or pickled to eat as a vegetable with chili sauce.
Grood	<i>Athyrium esculentum</i>	The shoots are blanched and eat them